

『地もぐり豆』要約例

三年生の和夫は、貯金箱の中身が少ないことに気がついたおばあさんに、中のお金をだまっけて使ったことを打ち明けるが、何に使ったかは言うことがなく月日が流れた。三年後のある日、中川君から落花生と手紙が届く。手紙には三年前のお礼が書かれてあった。和夫は貯金箱の中のお金を使って、父親が死んで困っていた中川君にパンやクレヨンを買ってあげていたのだ。その夜、お礼にももらった落花生を家族みんなでおいしく食べた。